

災害報道の役割

被害の軽減に役立つ放送＝発災前

- ▼最新情報（気象・地震・火山など）・・・“被害のおそれ強まる” 備えの呼びかけ
- ▼警報・・・迅速で正確な放送
- ▼避難情報・・・高齢者、障害者には早めの対応を呼びかけ

救助・救援活動に役立つ放送＝発災直後

- ▼災害発生の一報 被害状況をいち早く放送
国、自治体、医療機関、ボランティアなど広範な活動に資する

生活再建・復興に役立つ放送＝その後

- ▼被災者に必要な情報を提供
- ▼被災地の状況を継続的に取り上げ、復興への長期的な支援を促す

安全な社会の構築に役立つ放送＝平常時

- ▼防災の課題を積極的に取り上げる
- ▼“災害から1年” “梅雨を前に” などのタイミングをとらえ、過去の災害を振り返ると共に現在の防災対策を検証
- ▼防災知識 防災意識の普及

災害の発生が懸念される時

- ▼警報の伝達や気象解説を特にていねいに
- ▼防災上の注意点を強調（増水・土砂崩れなど）
- ▼前兆現象などを紹介（にごり・落石など）
- ▼最近の気象現象の特徴も考慮して詳しく解説

課題

◎「いつもと違う・・・」の感触をつかめるか？

◎危機感を正しく伝えられるか？

自分に関わる問題としてとらえてもらえるか？